

**KAWAI****2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）**

2019年5月9日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所 上場取引所 東  
 コード番号 7952 URL https://www.kawai.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 照幸 TEL 053-457-1227  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	72,376	2.2	3,669	33.5	3,918	27.7	2,010	3.0
2018年3月期	70,795	6.4	2,749	18.5	3,068	19.1	1,951	19.6

(注) 包括利益 2019年3月期 2,073百万円 (△14.6%) 2018年3月期 2,427百万円 (40.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	235.23	—	8.4	7.4	5.1
2018年3月期	224.17	—	8.6	6.0	3.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 △16百万円 2018年3月期 14百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	53,231	25,005	46.8	2,912.42
2018年3月期	52,911	23,311	43.9	2,720.56

(参考) 自己資本 2019年3月期 24,915百万円 2018年3月期 23,217百万円

添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（表示方法の変更）」に記載のとおり、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用し、表示方法の変更を行っております。2018年3月期の数値は、当該表示方法の変更を遡って適用した後の数値を記載しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	3,654	△846	△1,656	11,055
2018年3月期	3,112	△2,515	687	9,960

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	426	22.3	1.9
2019年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	470	23.4	2.0
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		24.8	

※配当金の総額には、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式に対する配当金を含めておりません。

(注) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 53円00銭、記念配当 2円00銭

## 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	1.8	1,400	△18.6	1,300	△31.0	750	△18.0	87.60
通期	73,000	0.9	3,100	△15.5	3,100	△20.9	1,900	△5.5	221.78

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	9,011,560株	2018年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2019年3月期	456,554株	2018年3月期	477,463株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	8,545,048株	2018年3月期	8,705,742株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入しております。野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を期末自己株式数に含めて記載しております。（2019年3月期 40,100株）また、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2019年3月期 50,183株）

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	51,524	2.6	763	—	1,715	△59.6	740	△80.6
2018年3月期	50,197	4.4	56	—	4,246	—	3,813	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	86.69	—
2018年3月期	438.10	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	38,273		14,118		36.9		1,650.38	
2018年3月期	38,599		13,452		34.9		1,576.31	

(参考) 自己資本 2019年3月期 14,118百万円 2018年3月期 13,452百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、政府の経済対策により雇用情勢や企業収益の改善がみられ緩やかな回復基調が続いていましたが、世界経済は、米中の貿易摩擦や新興国経済の減速懸念に伴い金融市場が不安定になるなど、先行き不透明な状況で推移し、年度終盤では日本経済もこの影響により弱まりを見せています。

このような経営環境のもと、当社グループは中期経営計画「Resonate2018」の最終年度として、100年ブランドとしての企業価値向上の推進と長期的な安定成長を目指し、掲げている主要戦略と基盤づくりに取り組みました。

こうした中で、昨年11月に開催された『第10回浜松国際ピアノコンクール』において、前回に引き続き、公式ピアノである当社フラッグシップモデル『SK-EX』を弾いたジャン・チャクムル氏（トルコ）が優勝、また第五位・第六位入賞者も『SK-EX』を選択するという当社にとって大きなトピックがありました。

国内では店舗戦略として「カワイ仙台」をリニューアルオープンし、これまで継続的に取り組んできた中核都市におけるお客様とのタッチポイントの拡大を進め、『Shigeru Kawai』をはじめとした高付加価値商品の販売に取り組みました。

海外では、米国やドイツでの直営店展開の強化により鍵盤楽器の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウを活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

商品政策としては、消音機能と高性能の響板スピーカーを搭載したハイブリッドアップライトピアノ『AURES（オーレス）』を開発し、大型のスピーカーに匹敵する迫力と、響板ならではの豊かな響きを実現し、お客様がよりピアノライフを楽しめる新製品を市場に投入しました。

また創立90周年の節目に合わせ創設した、『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』の第2回を開催し、17の国と地域から239名のピアニストがエントリーしてハイレベルな演奏が繰り広げられ、大きな反響を頂きました。引き続き次世代を担うピアニストの発掘・育成や、世界の音楽文化の振興にも力を入れてまいります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は 72,376百万円（前期比 1,580百万円増）、営業利益は 3,669百万円（前期比 920百万円増益）、経常利益は 3,918百万円（前期比 850百万円増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は 2,010百万円（前期比 58百万円増益）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### (楽器教育事業)

楽器教育事業は、主力のピアノは中国での二桁伸長をはじめ、欧州、北米、日本で販売が堅調に推移しました。また商品としまでも『Shigeru Kawai』や、ハイブリッドアップライトピアノ『AURES』、消音ピアノ『ATX』などの高付加価値商品の販売が好調でした。デジタルピアノは、グランドピアノアクションを搭載したハイブリッドデジタルピアノ『NOVUS NV10』や、最上位モデルの『CA』シリーズが欧州や日本で順調に推移しました。音楽教室ではピアノコースの展開に注力した結果、生徒数が増え売上が増加しました。

この結果、売上高は 58,586百万円（前期比 3,050百万円増）となり、営業利益 2,578百万円（前期比 941百万円増益）となりました。

#### (素材加工事業)

素材加工事業は、半導体関連部品や自動車の内装部品の受注が減少したことなどにより、売上高は 10,606百万円（前期比 238百万円減）となり、営業利益 1,131百万円（前期比 63百万円減益）となりました。

#### (その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器の販売減少により、売上高は 3,183百万円（前期比 1,230百万円減）となりましたが、ソフトウェア開発の受託増などにより営業利益 7百万円（前期比 12百万円増益）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の流動資産は、現金及び預金の増加、たな卸資産の増加により 29,861百万円（前期末比 1,423百万円増）となりました。また固定資産は、投資有価証券の減少等により 23,370百万円（前期末比 1,102百万円減）となり、資産合計は 53,231百万円（前期末比 320百万円増）となりました。

## (負債)

当連結会計年度末の流動負債は、16,602百万円（前期末比 596百万円減）となりました。これは主に短期借入金が減少したことによるものです。また固定負債は、長期借入金の減少や退職給付に係る負債の減少などにより 11,624百万円（前期末比 777百万円減）となり、負債合計は 28,226百万円（前期末比 1,373百万円減）となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は 25,005百万円（前期末比 1,694百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益などによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、換算差額を含め 1,094百万円増加したことなどにより 11,055百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益 3,430百万円、減価償却費 1,526百万円、法人税等の支払額 765百万円などにより 3,654百万円の資金増加（前期は 3,112百万円の資金増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 1,287百万円、無形固定資産の取得による支出 343百万円などにより 846百万円の資金減少（前期は 2,515百万円の資金減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出 516百万円、長期借入金返済による支出 816百万円などにより 1,656百万円の資金減少（前期は 687百万円の資金増加）となりました。

## キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率	41.5%	44.1%	43.9%	46.8%
時価ベースの自己資本比率	35.1%	41.3%	57.1%	46.2%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	2.0年	2.5年	2.6年	1.9年
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	69.2	52.6	63.3	80.2

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

今後の世界経済につきましては、米中貿易摩擦の影響や新興国の景気懸念など、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

こうした中、当社グループは2019年4月から3年間にわたる新中期経営計画「Resonate 2021」を策定し、長期ビジョンとして『100年ブランド』の確立を掲げ、100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ってまいります。

詳細につきましては、下記URLからご覧いただくことができます。

<https://www.kawai.co.jp/company/plan/>

## 連結業績指標

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売 上 高	73,000	74,000	76,000
営 業 利 益	3,100	3,600	4,200
経 常 利 益	3,100	3,600	4,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,900	2,250	2,650
営 業 利 益 率	4.2%	4.8%	5.5%
R O E	7.5%	8.3%	9.2%

(為替の前提レート US\$ 110円、ユーロ 125円、元 16円)

上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、今後の経営環境ならびに事業展開を考慮し、経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、株主各位への安定的な配当及び資本効率の向上を目的とした機動的な株主還元を行うことを基本方針とし、総還元性向30%以上を目標としております。

剰余金の配当につきましては、中間配当制度を設けていますが、経営基盤の安定化を考慮し、現在は期末配当のみの年1回を基本方針としております。剰余金の配当の決定機関については、株主総会の決議とともに取締役会の決議によっても行う旨を定款で定めておりますが、期末配当金については定時株主総会の決議により決定することを原則としております。

上記の方針を踏まえて、当期につきましては1株当たりの期末配当金は、記念配当を含め55円00銭を予定しております。

次期の配当金につきましては、1株当たりの期末配当金55円00銭を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,979	11,798
受取手形及び売掛金	7,344	7,434
商品及び製品	4,985	5,496
仕掛品	1,452	1,552
原材料及び貯蔵品	1,981	2,208
その他	1,857	1,524
貸倒引当金	△162	△153
流動資産合計	28,438	29,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,224	17,355
減価償却累計額	△12,165	△12,485
建物及び構築物(純額)	5,059	4,870
機械装置及び運搬具	12,608	12,737
減価償却累計額	△10,491	△10,680
機械装置及び運搬具(純額)	2,116	2,056
土地	6,355	6,345
建設仮勘定	135	125
その他	6,017	6,149
減価償却累計額	△5,339	△5,405
その他(純額)	678	743
有形固定資産合計	14,344	14,142
無形固定資産		
のれん	106	—
その他	690	862
無形固定資産合計	797	862
投資その他の資産		
投資有価証券	6,660	5,857
繰延税金資産	1,188	1,089
その他	1,608	1,541
貸倒引当金	△127	△122
投資その他の資産合計	9,330	8,365
固定資産合計	24,472	23,370
資産合計	52,911	53,231

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,317	4,265
短期借入金	6,676	5,859
未払金	2,121	2,144
未払法人税等	447	732
賞与引当金	897	897
製品保証引当金	67	94
その他	2,671	2,609
流動負債合計	17,198	16,602
固定負債		
長期借入金	1,506	1,091
繰延税金負債	0	0
環境対策引当金	29	29
退職給付に係る負債	9,909	9,479
資産除去債務	610	601
その他	344	420
固定負債合計	12,401	11,624
負債合計	29,599	28,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	15,609	17,189
自己株式	△1,112	△1,061
株主資本合計	22,877	24,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	873
為替換算調整勘定	327	△101
退職給付に係る調整累計額	△565	△364
その他の包括利益累計額合計	339	407
非支配株主持分	93	89
純資産合計	23,311	25,005
負債純資産合計	52,911	53,231

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	70,795	72,376
売上原価	52,923	53,131
売上総利益	17,871	19,245
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,898	2,196
貸倒引当金繰入額	5	△16
給料手当及び賞与	5,559	5,560
賞与引当金繰入額	428	423
退職給付費用	403	440
その他	6,826	6,971
販売費及び一般管理費合計	15,122	15,575
営業利益	2,749	3,669
営業外収益		
受取利息	68	69
受取配当金	34	33
固定資産賃貸料	44	42
保険配当金	60	3
持分法による投資利益	14	—
為替差益	182	160
その他	101	116
営業外収益合計	505	425
営業外費用		
支払利息	52	48
寄付金	80	37
持分法による投資損失	—	16
その他	53	73
営業外費用合計	186	176
経常利益	3,068	3,918
特別利益		
固定資産売却益	1	0
受取補償金	35	7
特別利益合計	37	8
特別損失		
固定資産除却損	19	14
固定資産売却損	2	5
減損損失	23	—
投資有価証券売却損	—	475
事業構造改善費用	97	—
特別損失合計	143	496
税金等調整前当期純利益	2,961	3,430
法人税、住民税及び事業税	1,102	1,327
法人税等調整額	△109	88
法人税等合計	992	1,415
当期純利益	1,968	2,014
非支配株主に帰属する当期純利益	17	4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,951	2,010

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,968	2,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	295
為替換算調整勘定	12	△444
退職給付に係る調整額	163	201
持分法適用会社に対する持分相当額	24	7
その他の包括利益合計	458	58
包括利益	2,427	2,073
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,404	2,077
非支配株主に係る包括利益	22	△4

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	14,103	△404	22,079
当期変動額					
剰余金の配当			△445		△445
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,951		1,951
自己株式の取得				△800	△800
自己株式の処分				92	92
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,505	△707	797
当期末残高	7,122	1,257	15,609	△1,112	22,877

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	320	295	△729	△113	71	22,037
当期変動額						
剰余金の配当						△445
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,951
自己株式の取得						△800
自己株式の処分						92
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	257	31	163	453	22	475
当期変動額合計	257	31	163	453	22	1,273
当期末残高	578	327	△565	339	93	23,311

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	15,609	△1,112	22,877
当期変動額					
剰余金の配当			△429		△429
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,010		2,010
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分				52	52
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,580	50	1,630
当期末残高	7,122	1,257	17,189	△1,061	24,508

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	578	327	△565	339	93	23,311
当期変動額						
剰余金の配当						△429
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,010
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						52
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	295	△428	201	67	△4	63
当期変動額合計	295	△428	201	67	△4	1,694
当期末残高	873	△101	△364	407	89	25,005

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,961	3,430
減価償却費	1,713	1,526
減損損失	23	—
長期前払費用償却額	27	11
のれん償却額	106	106
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△159	△223
受取利息及び受取配当金	△102	△102
支払利息	52	48
持分法による投資損益(△は益)	△14	16
有形固定資産売却損益(△は益)	1	5
固定資産除却損	19	14
売上債権の増減額(△は増加)	△378	△47
たな卸資産の増減額(△は増加)	144	△776
仕入債務の増減額(△は減少)	4	127
投資有価証券売却損益(△は益)	—	475
未払退職金の増減額(△は減少)	94	20
その他	290	△196
小計	4,790	4,420
法人税等の支払額	△1,677	△765
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,112	3,654
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	214	220
有形固定資産の取得による支出	△1,583	△1,287
有形固定資産の売却による収入	63	36
無形固定資産の取得による支出	△171	△343
有形固定資産の除却による支出	△27	△24
投資有価証券の取得による支出	△1,144	△149
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	556
利息及び配当金の受取額	99	100
長期前払費用の取得による支出	△12	△16
その他	44	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,515	△846
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,973	△516
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,037	△816
配当金の支払額	△444	△428
リース債務の返済による支出	△42	△30
自己株式の売却による収入	92	86
自己株式の取得による支出	△800	△1
利息の支払額	△49	△45
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	687	△1,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	△177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,348	975
現金及び現金同等物の期首残高	8,612	9,960
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	119
現金及び現金同等物の期末残高	9,960	11,055

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が611百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が611百万円増加しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が0百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、常務会等で経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは『基幹事業（楽器・音楽教室）』の成長を中心として、100年ブランドの確立を目指すため、国内では地域ユニット体制による収益力の強化を深化させ、また中国でも中長期的な成長に向け、楽器販売、音楽教室、調律の三位一体体制での事業推進により企業価値の向上を図ってまいります。こうした経営環境を背景に、マネジメントアプローチの考え方にに基づき、「楽器教育事業」、「素材加工事業」を報告セグメントとしております。

「楽器教育事業」は、楽器の製造販売及び楽器の調律・修理及び音楽教室・体育教室の運営、教材・楽譜・音楽教育用ソフトの製造、販売をしております。「素材加工事業」は、電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、銑鉄鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理と同一の方法によっております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,536	10,844	66,380	4,414	70,795	—	70,795
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	375	375	364	739	△739	—
計	55,536	11,219	66,756	4,778	71,534	△739	70,795
セグメント利益 又は損失 (△)	1,637	1,194	2,832	△4	2,827	△78	2,749
セグメント資産	33,151	7,467	40,619	2,452	43,071	9,839	52,911
その他の項目							
減価償却費	907	438	1,345	3	1,349	363	1,713
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,038	481	1,520	0	1,521	514	2,035

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,586	10,606	69,192	3,183	72,376	—	72,376
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	476	477	385	863	△863	—
計	58,587	11,082	69,670	3,569	73,239	△863	72,376
セグメント利益	2,578	1,131	3,709	7	3,717	△47	3,669
セグメント資産	34,035	7,514	41,550	2,367	43,917	9,314	53,231
その他の項目							
減価償却費	935	461	1,397	3	1,400	125	1,526
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,070	363	1,433	7	1,440	164	1,605

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	71	78
全社費用※	△149	△126
合計	△78	△47

※ 全社費用は、主に特定セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△992	△1,502
全社資産※	10,832	10,816
合計	9,839	9,314

※ 全社資産は、主に提出会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,720.56円	2,912.42円
1株当たり当期純利益	224.17円	235.23円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

（前連結会計年度 61千株、当連結会計年度 40千株）

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前連結会計年度 76千株、当連結会計年度 50千株）

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,951	2,010
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	1,951	2,010
普通株式の期中平均株式数（千株）	8,705	8,545

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	23,311	25,005
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	93	89
（うち非支配株主持分（百万円））	(93)	(89)
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	23,217	24,915
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（千株）	8,534	8,555

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。